

# 地域包括支援センター「地域ケア会議」 —協働の支援を通して—

東部保健福祉事務所登米地域事務所 成人・高齢班

○技術主幹 小川美穂, 技術副参事兼技術次長 佐藤純子  
技術次長 宮城裕美子, 技術主査 後藤博音



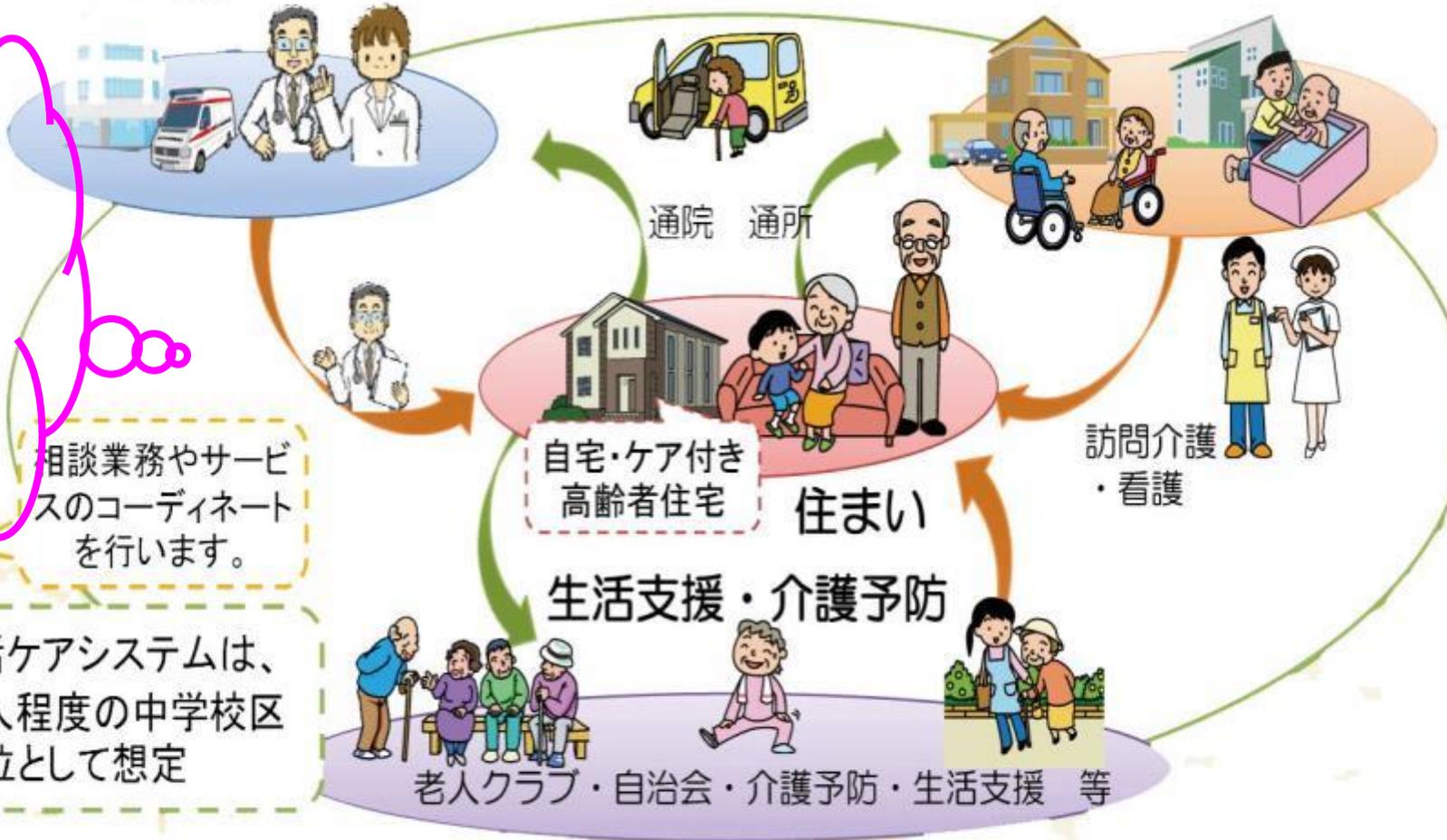
# はじめに

- 地域包括ケアシステムの推進
- 地域包括支援センターのコーディネート機能の充実
- 「地域ケア会議」が効果的に展開されるよう運営を支援

# 地域包括ケアシステム

医療

介護



地域包括支援  
センター・  
ケアマネ  
ジャー

相談業務やサービス  
のコーディネート  
を行います。

※地域包括ケアシステムは、  
人口1万人程度の中学校区  
を単位として想定

# 地域包括支援センター

在宅医療・介護連携の推進

認知症施策の推進

生活支援サービスの体制整備

地域ケア会議の強化



地域の高齢者の総合相談，権利擁護や地域の支援体制づくり，介護予防の必要な援助などを行う

# 登米地域の状況

- 人口 82,487人（高齢化率 31.1%）  
H28.3.31現在
- 平成17年4月1日登米市誕生  
（9町合併10年）
- 地域包括支援センター5か所（委託型）

# 研修会 (H26.27)



# 活動内容

## 中田・石越地域包括支援センター 地域ケア会議

地域包括支援センター機能強化推進事業  
(地域ケア会議への専門職派遣) (H28)



# 支援内容

- 開催・運営・開催後の振り返りの支援

- 助言者  
足立区社会福祉協議会  
足立区基幹地域包括支援センター  
和田 忍氏



# 開催へ向けて

- 個別支援や事業等から感じる地域課題

- 開催趣旨・目的の共有

- 参集者の検討・出席依頼

区長，民生委員兼元気応援コンシェルジュ，  
生活支援コーディネーター，社会福祉協議会，  
市中田支所（保健師），市長寿介護課

# 区長さんから

今度は何ですか？同じような会議を、行政からいろいろ頼まれて、地域では混乱している。



「地域づくり」, 「支え合い」と言っても、これまで地域では行われてきたもの。かえって行政が、壊してきたのではないか。今更また地域づくりと言われても。

地域は一つなのに、行政からあれもこれも頼まれて。

地域は、「地域づくり行動計画書」を作成している。

これ以上市民に支え合えと言われてもなあ。

# 地域づくり行動計画書

## 石森地域づくり行動計画書

～開ろう 暮らしやすい にぎわいのある いしのもり～

・・・ 日本で一番住みたい地域をめざして ・・・



【石森の新しいセンター】新緑の森(18)



【石森登米市はつね地区の児童団体の活動】



【石ノ森の芸術の宝庫】



【石森まつり】運動会

2015年(平成27年)3月

石森コミュニティ運営協議会

- 「登米市の協働によるまちづくり指針」に基づきH27.3策定
- ワークショップを年間10回以上開催

# 第1回地域ケア会議

- 住民代表と協働の地域づくりを進めて行くため、地域の思いを聞く機会として開催



# 区長さんや民生委員さんから

地域づくりは、  
元々人に言われて  
するものではない。



関係者が縦割りに地域  
に入ることによって地域が混  
乱している。是非、横  
の連携をとってもらいた  
い。

実際に現場に来て、  
見て、参加して欲  
しい。

みんな同じ方向を  
向いていることを  
確認できればすす  
めるのは大変なこと  
ではない。

# 次回開催へ向けて

- 地区の活動に参加し現場の声を聞く  
「地域づくり実践プロジェクト会議」  
「ミニデイサービス」 など
- 情報共有するための資料の作成  
一次予防・二次予防・健康づくりに  
関する年間事業一覧表 など



# 第2回地域ケア会議

- 関係者（地域包括支援センター，支所，社協）で互いの事業や地域課題について情報共有





# 第3回地域ケア会議

- テーマ 「関係者も繋がろう！  
～高齢者が、この町に住んでよかったと  
思えるように～」
- 関係者が協働で  
すすめる内容  
について検討



# 参加者から



それぞれが地区の「強み」を把握している。協働しながらすすめたい。

お互い近くにいても知らなかったことが多い、それを繋いでいけたらいいものが出来てくる。定期的に行えば。

個別の支援の時にも関係者が集まって、共有できたら。

# 支援で意識したこと①

- 地域に出向き住民や関係者の話を丁寧に聞く
- 地域課題のアセスメント  
地域の強みや協働者の把握
- 目的，目指すべき方向性の共有



## 支援で意識したこと②

- 優先順位の決定  
実現可能で具体的な取り組みから
- 検討内容の見える化
- 成果を関係者や住民にフィードバック



## 支援で意識したこと③

- 1回毎に会議を評価し改善  
→合意形成の積み重ね  
(これらのプロセスを協働者と大切に)  
→スモールステップ(意図的に段階的に)  
→参加して良かったと思えるように  
(継続できるように)
- ミクロ(個別事例)から  
マクロ(地域全体)の視点へ
- 市との連携



# 考 察

- 関係者の顔の見える関係ができ，協働で地域づくりをすすめていくチームへと変容。
- 地区の課題から市全体の課題検討への広がり。
- 地域包括支援センターが今後定例で会議を開催予定。

# おわりに

- 地域包括ケアシステムを推進するための手段として、「地域ケア会議」のような場は重要。
- 様々な立場の方が横断的に協働・連携することが大切。
- 「実感できる成果」に繋がる第1歩。

# ご静聴ありがとうございました



石ノ森章太郎ふるさと記念館にて